



大草っ子の心

大草っ子の心を見つめる教育週間の初めに、校長講話として、ある有名な漫画の一部分を使って話をしました。

困ったときは、助けを求めること

助けを求められたら、できる限りの手助けをすること

「助けて」→「当たり前だ」というセリフからです。

なお、「助けて」と言われなくても困っている人を見つけることがあります。そんなときには、自分にできることがないか確かめて力を貸すことができるのが、今年度目指している「主人公」であるということを伝えました。

また、最近の事件から引用して話をしました。「その人が写っている写真を勝手に SNS にあげることは悪いこと」だと子どもたちも分かっていました。「でも、殺されることはなかった」ともわかっていました。私たちは、授業づくりはもちろん、**望ましい人間関係づくり**を進めています。大人社会の間違った事例も教訓にしながら、受容的・共感的な大草小学校を子どもたちと共につくっていかうという思いを新たにしました。

道徳の授業で真剣に考える姿、フロアスティックカーリングで地域の人と笑顔で交流する姿、プール開きで励まし合う姿……。皆さんに見てもらった姿はどれも、「大草っ子の心」が行動となって表れていたものです。望ましい人間関係づくりには、そのモデルが必要です。漫画やアニメの主人公をモデルにするだけでなく、実際に学校で起きている様々な素晴らしい事例をモデルにして広げているところです。そのために、見つけた事例は校長室の前に固有名詞入りで書き留めています。また来校された折には、ぜひご一読ください。

そして、杉野先生のお話にもあったように、「大人自身が変わること」が第一です。「分かるようになりたい」「できるようになりたい」「仲良くなりたい」など、子どもたちの純粋な願いをくみ取って、子どもたちと共に学んでいきましょう。

大草検定は大変盛り上がりました。裏面に検定クイズのアドレスと QR コードを載せておきますので、ぜひ挑戦してみてください。また、昨年度のもち米を 1kg 単位で販売しました。購入ありがとうございました！



みんなで挑戦大草検定！

地域の皆さんや、子どもたち、参考文献、道歩き、などから作った問題 25 問です。
挑戦してみてください。名前は入れなくてもできます。(もちろん入れていただいても構いません)

子どもたちは 100 点がとれるようになった時点で、学年と名前を入れて挑戦してみてくださいは
いかがでしょうか。何度でも挑戦できますよ！

大草検定レベル 1

<https://forms.gle/GH2KRZA9y3Rdpi2L8>



大草検定レベル 2

<https://forms.gle/itwTBvs3CMGkUjYo8>



大草検定レベル 3

<https://forms.gle/XqQtHVW1urQPQkBv6>

